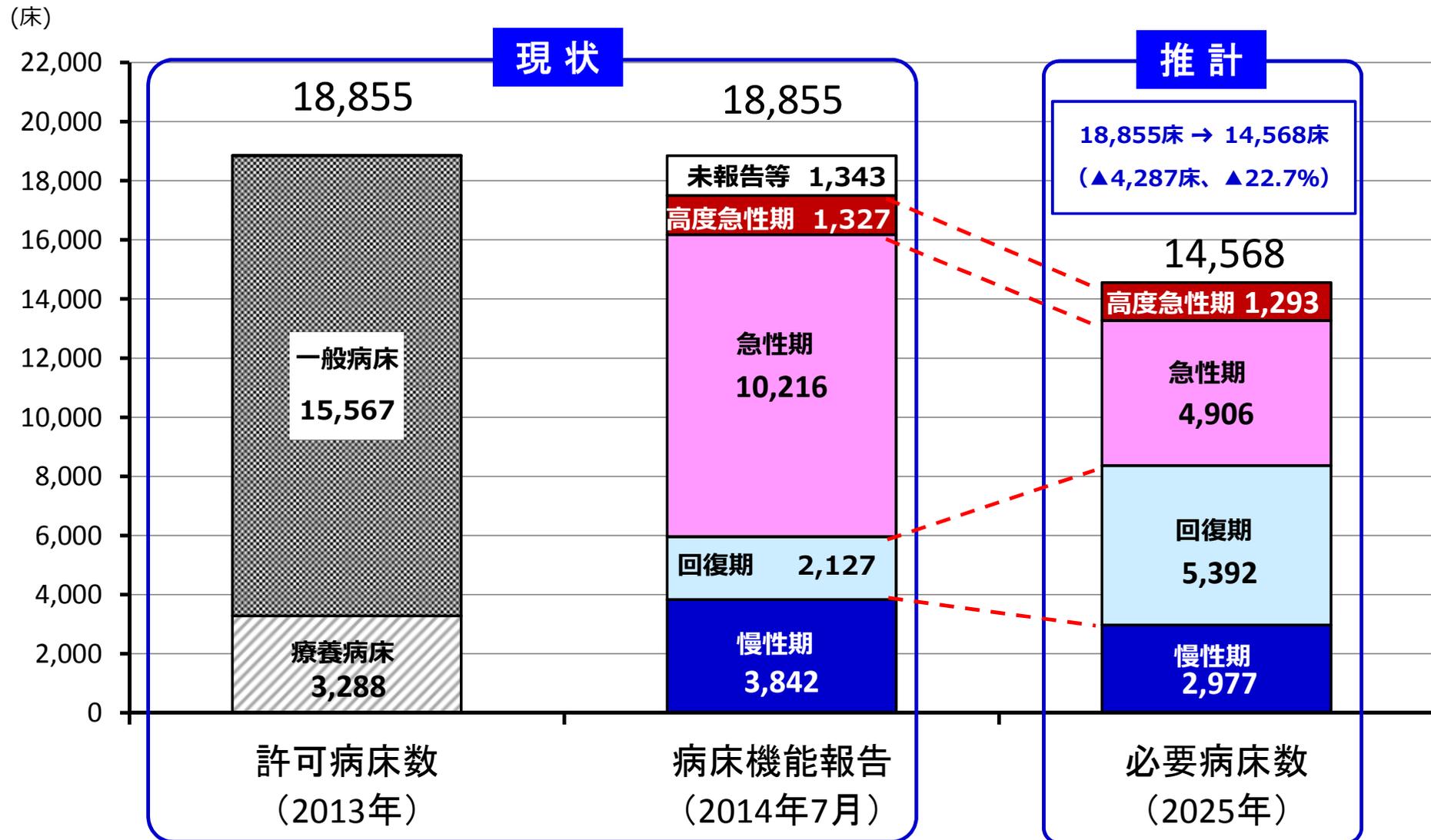


将来の必要病床数の推計値について

1) 現状の病床数と必要病床数の推計値	
大分県全域	1
東部医療圏	2
中部医療圏	3
南部医療圏	4
豊肥医療圏	5
西部医療圏	6
北部医療圏	7
2) 患者住所地ベースと医療機関所在地ベースの比較	8
3) 今後の論点	10

※ 医療需要と必要病床数の推計値の詳細については「参考資料6」を参照のこと。

現状の病床数と必要病床数の推計値（医療機関所在地ベース、大分県全域）



※ 許可病床数(2013年)は、厚生労働省「医療施設調査」による。

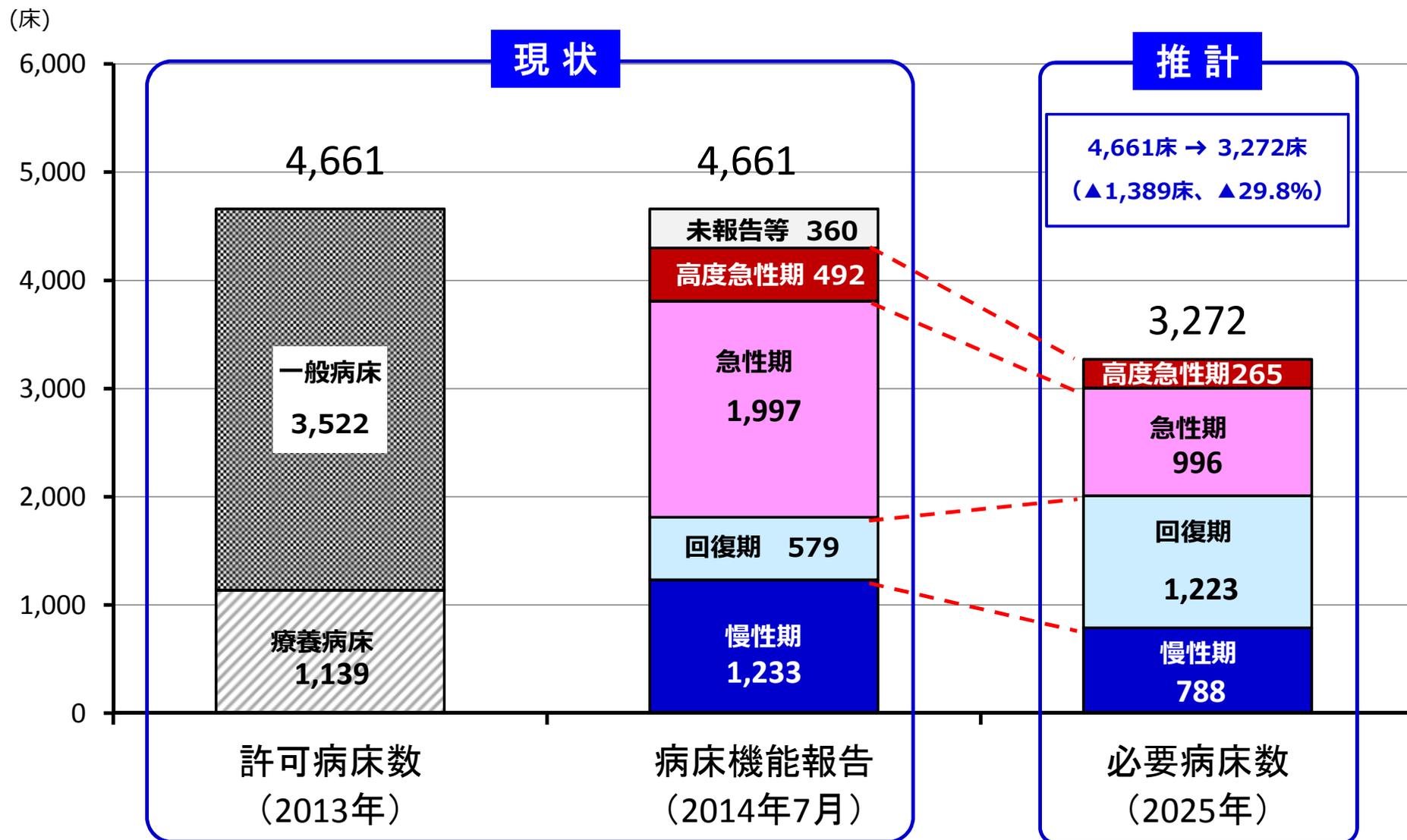
※ 病床機能報告(2014年7月)については、平成27年8月31日までの修正、追加報告等を含む。

なお、各医療機関が定性的な基準を参考に医療機能を選択したものであり、今回の推計における機能区分の考え方とは必ずしも一致しない。

※ 必要病床数(2025年)は、2013年の医療需要(実績)に将来の人口から推計された医療需要を病床稼働率で割り戻した数。

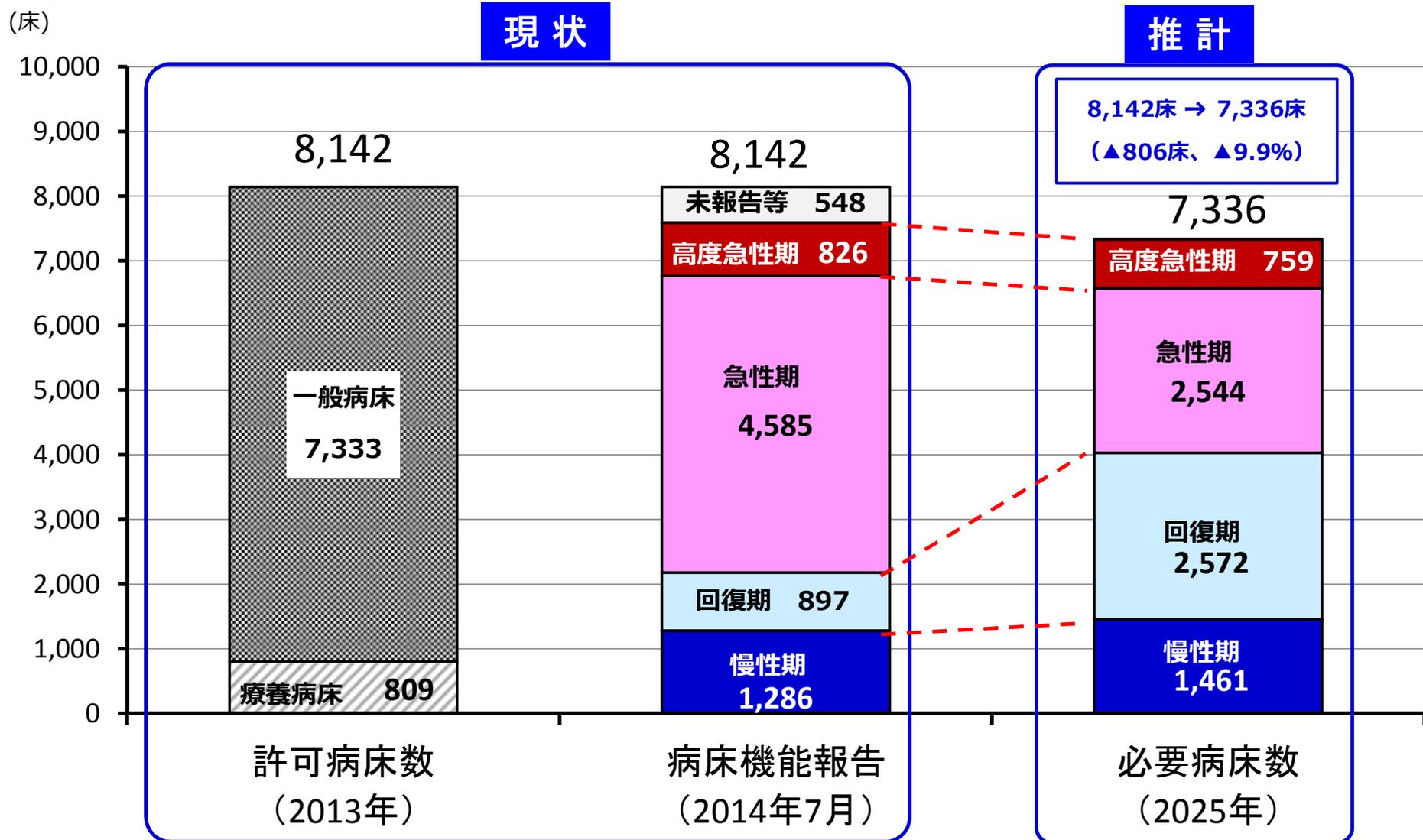
また、慢性期の病床数については「パターンB」による推計値。

現状の病床数と必要病床数の推計値（医療機関所在地ベース、東部医療圏）



※ 許可病床数(2013年)は、厚生労働省「医療施設調査」による。
 ※ 病床機能報告(2014年7月)については、平成27年8月31日までの修正、追加報告等を含む。
 なお、各医療機関が定性的な基準を参考に医療機能を選択したものであり、今回の推計における機能区分の考え方とは必ずしも一致しない。
 ※ 必要病床数(2025年)は、2013年の医療需要(実績)に将来の人口から推計された医療需要を病床稼働率で割り戻した数。
 また、慢性期の病床数については「パターンB」による推計値。

現状の病床数と必要病床数の推計値（医療機関所在地ベース、中部医療圏）



※ 許可病床数(2013年)は、厚生労働省「医療施設調査」による。

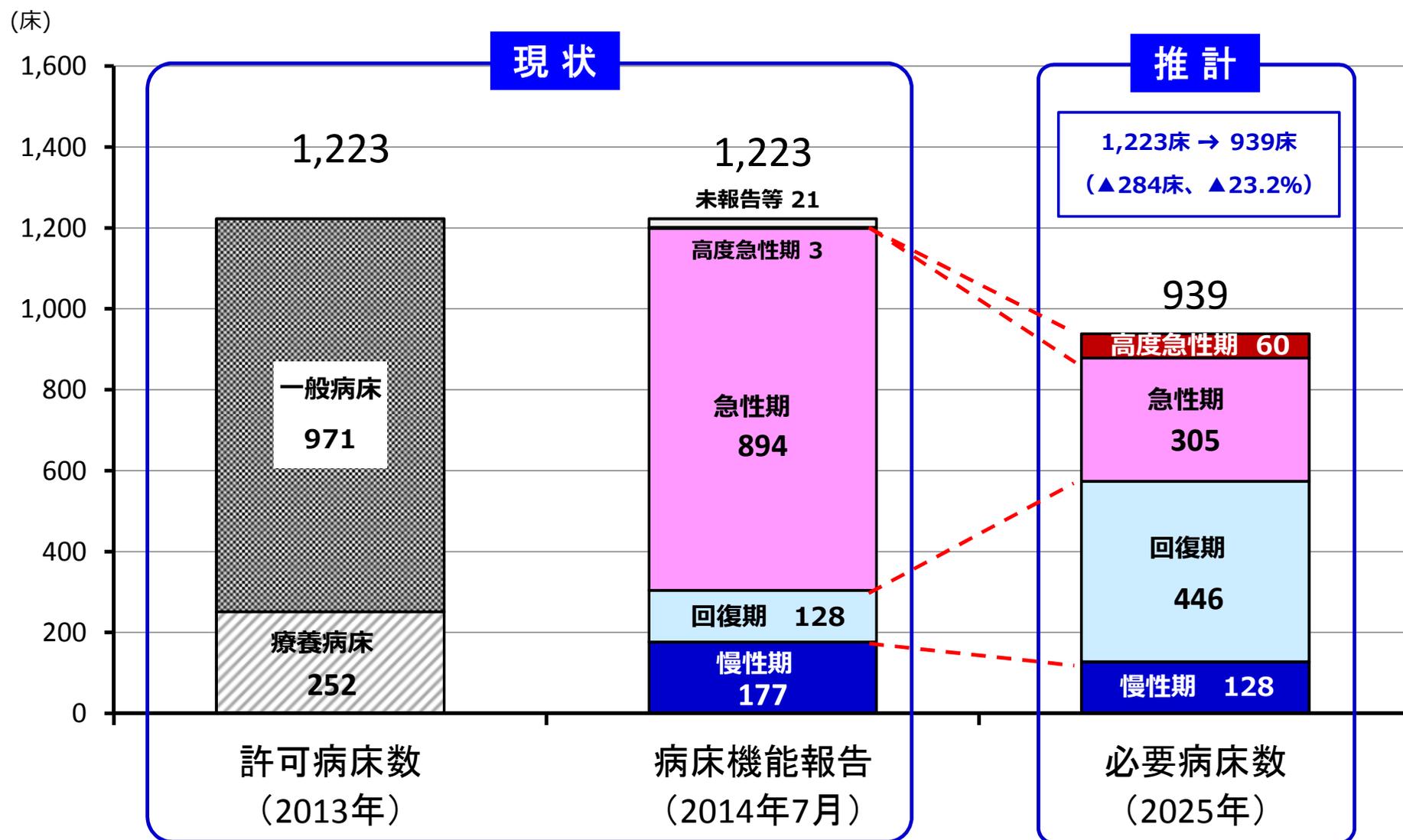
※ 病床機能報告(2014年7月)については、平成27年8月31日までの修正、追加報告等を含む。

なお、各医療機関が定性的な基準を参考に医療機能を選択したものであり、今回の推計における機能区分の考え方とは必ずしも一致しない。

※ 必要病床数(2025年)は、2013年の医療需要(実績)に将来の人口から推計された医療需要を病床稼働率で割り戻した数。

また、慢性期の病床数については「パターンB」による推計値。

現状の病床数と必要病床数の推計値（医療機関所在地ベース、南部医療圏）



※ 許可病床数(2013年)は、厚生労働省「医療施設調査」による。

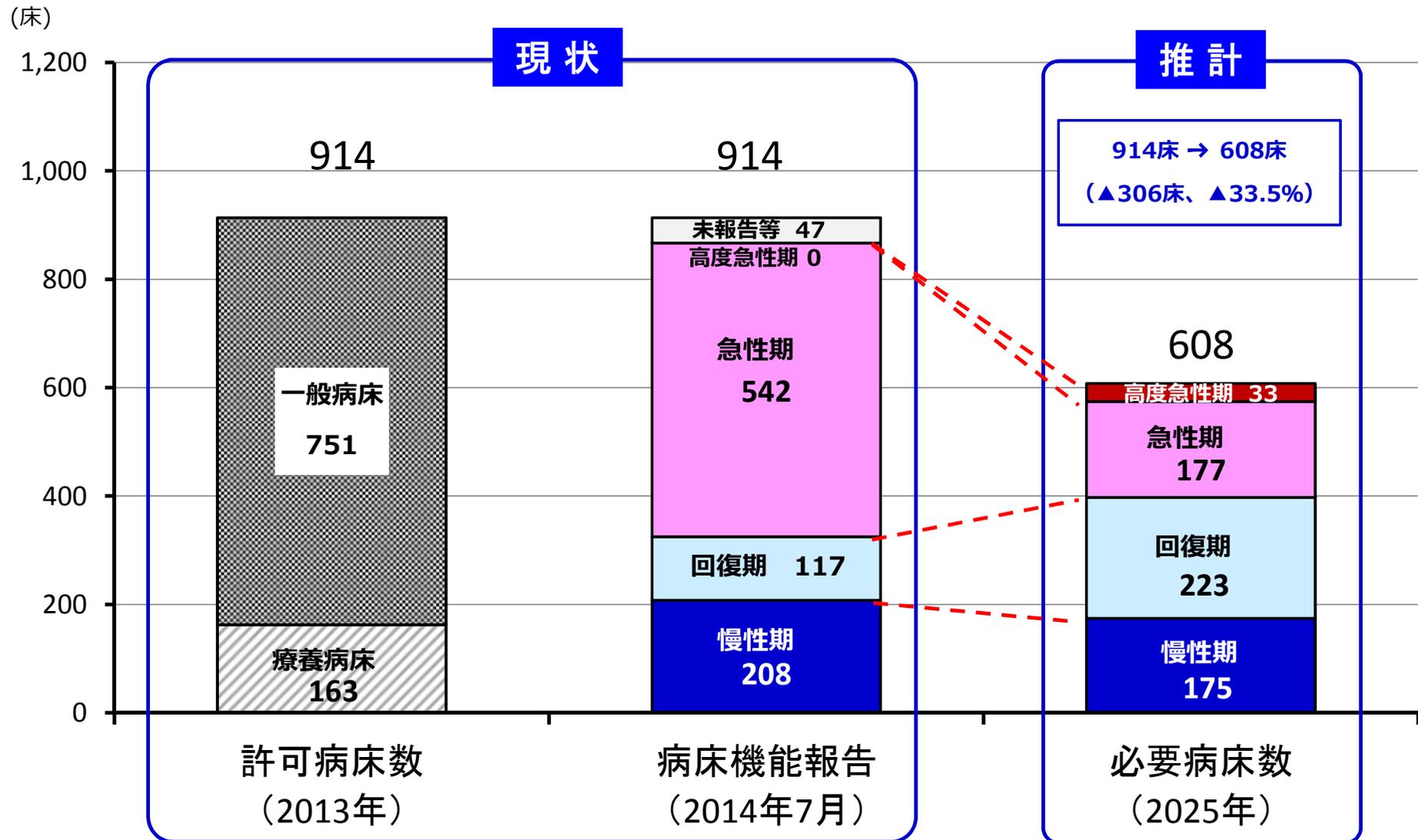
※ 病床機能報告(2014年7月)については、平成27年8月31日までの修正、追加報告等を含む。

なお、各医療機関が定性的な基準を参考に医療機能を選択したものであり、今回の推計における機能区分の考え方とは必ずしも一致しない。

※ 必要病床数(2025年)は、2013年の医療需要(実績)に将来の人口から推計された医療需要を病床稼働率で割り戻した数。

また、慢性期の病床数については「パターンB」による推計値。

現状の病床数と必要病床数の推計値（医療機関所在地ベース、豊肥医療圏）



※ 許可病床数(2013年)は、厚生労働省「医療施設調査」による。

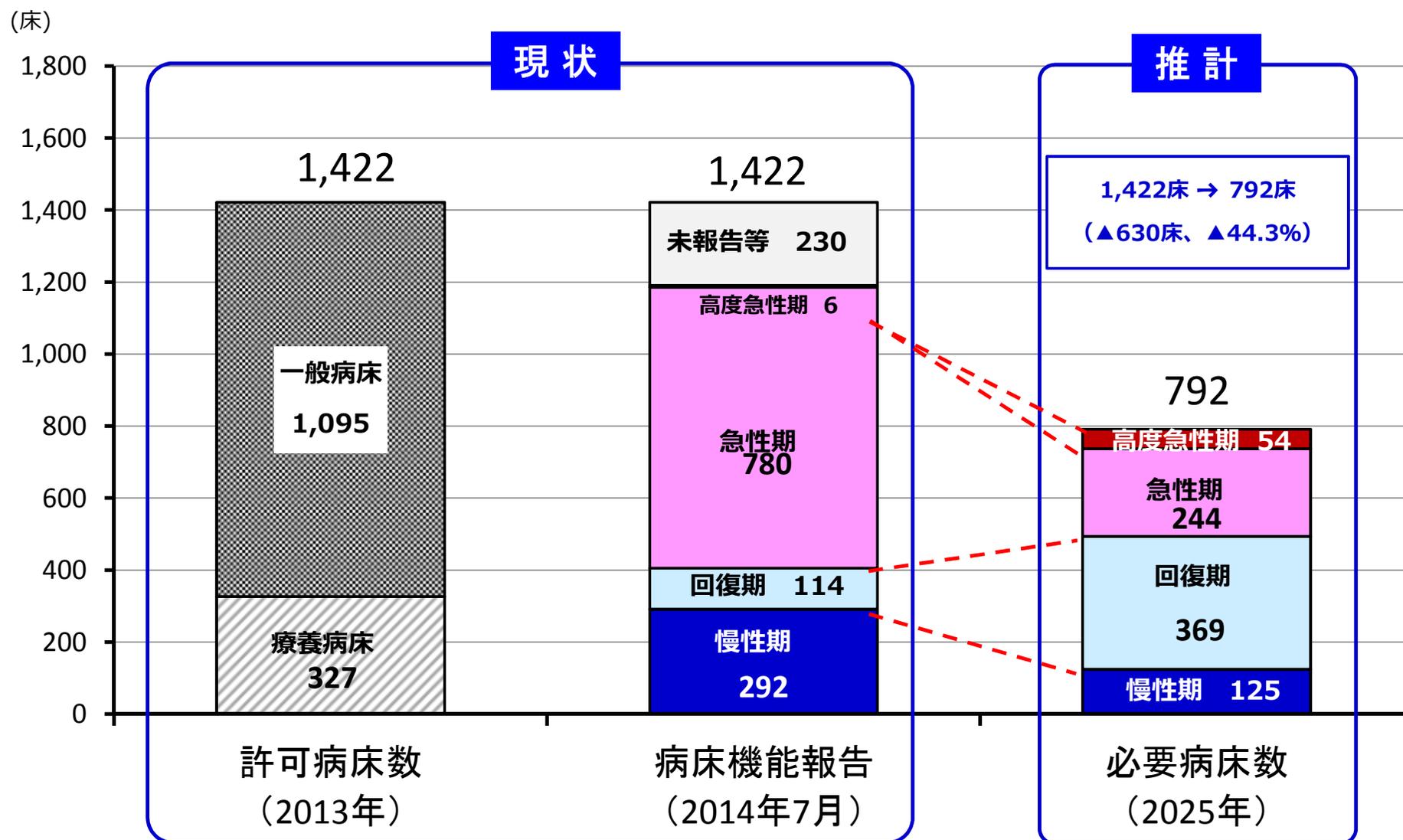
※ 病床機能報告(2014年7月)については、平成27年8月31日までの修正、追加報告等を含む。

なお、各医療機関が定性的な基準を参考に医療機能を選択したものであり、今回の推計における機能区分の考え方とは必ずしも一致しない。

※ 必要病床数(2025年)は、2013年の医療需要(実績)に将来の人口から推計された医療需要を病床稼働率で割り戻した数。

また、慢性期の病床数については「パターンB」による推計値。

現状の病床数と必要病床数の推計値（医療機関所在地ベース、西部医療圏）



※ 許可病床数(2013年)は、厚生労働省「医療施設調査」による。

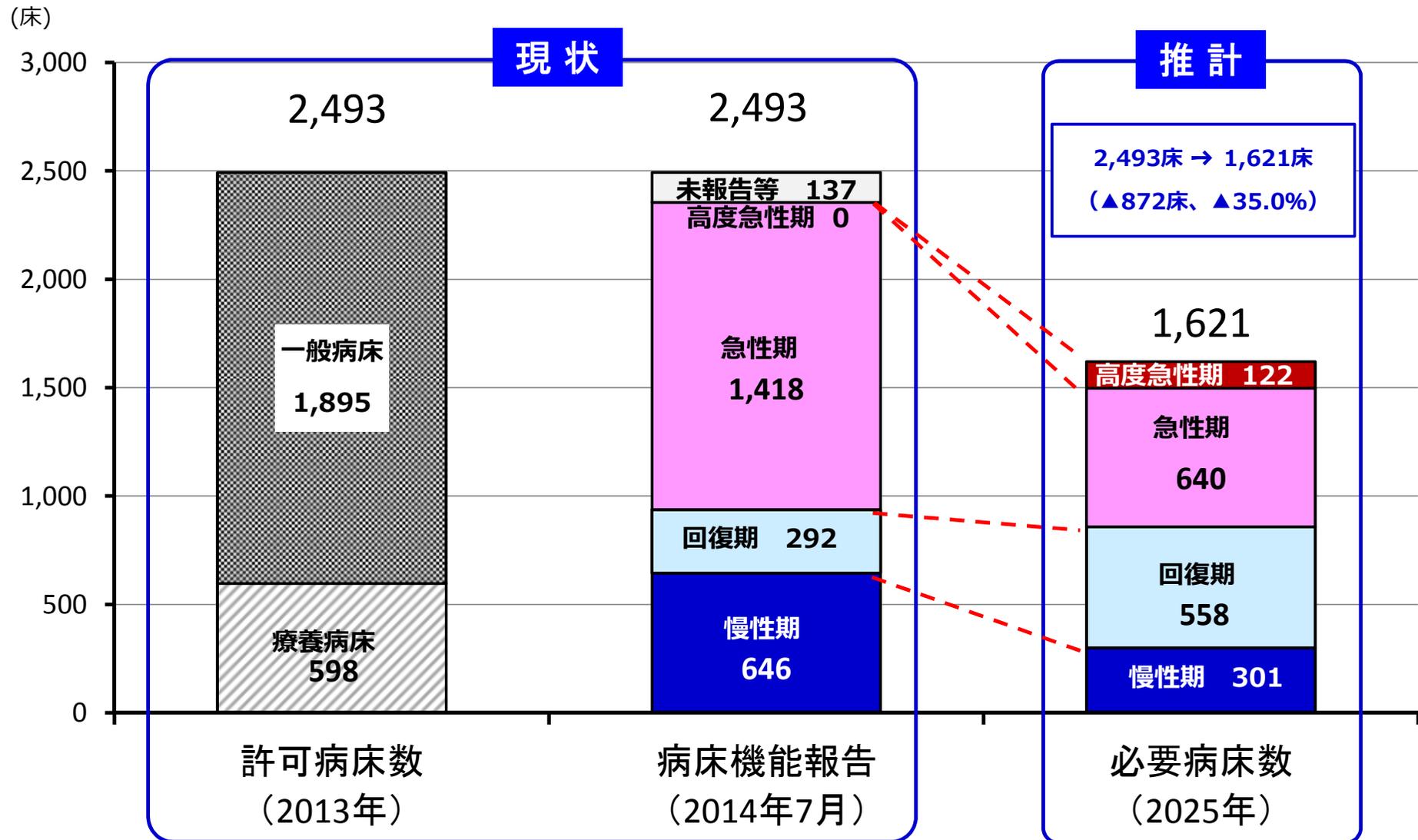
※ 病床機能報告(2014年7月)については、平成27年8月31日までの修正、追加報告等を含む。

なお、各医療機関が定性的な基準を参考に医療機能を選択したものであり、今回の推計における機能区分の考え方とは必ずしも一致しない。

※ 必要病床数(2025年)は、2013年の医療需要(実績)に将来の人口から推計された医療需要を病床稼働率で割り戻した数。

また、慢性期の病床数については「パターンB」による推計値。

現状の病床数と必要病床数の推計値（医療機関所在地ベース、北部医療圏）



※ 許可病床数(2013年)は、厚生労働省「医療施設調査」による。

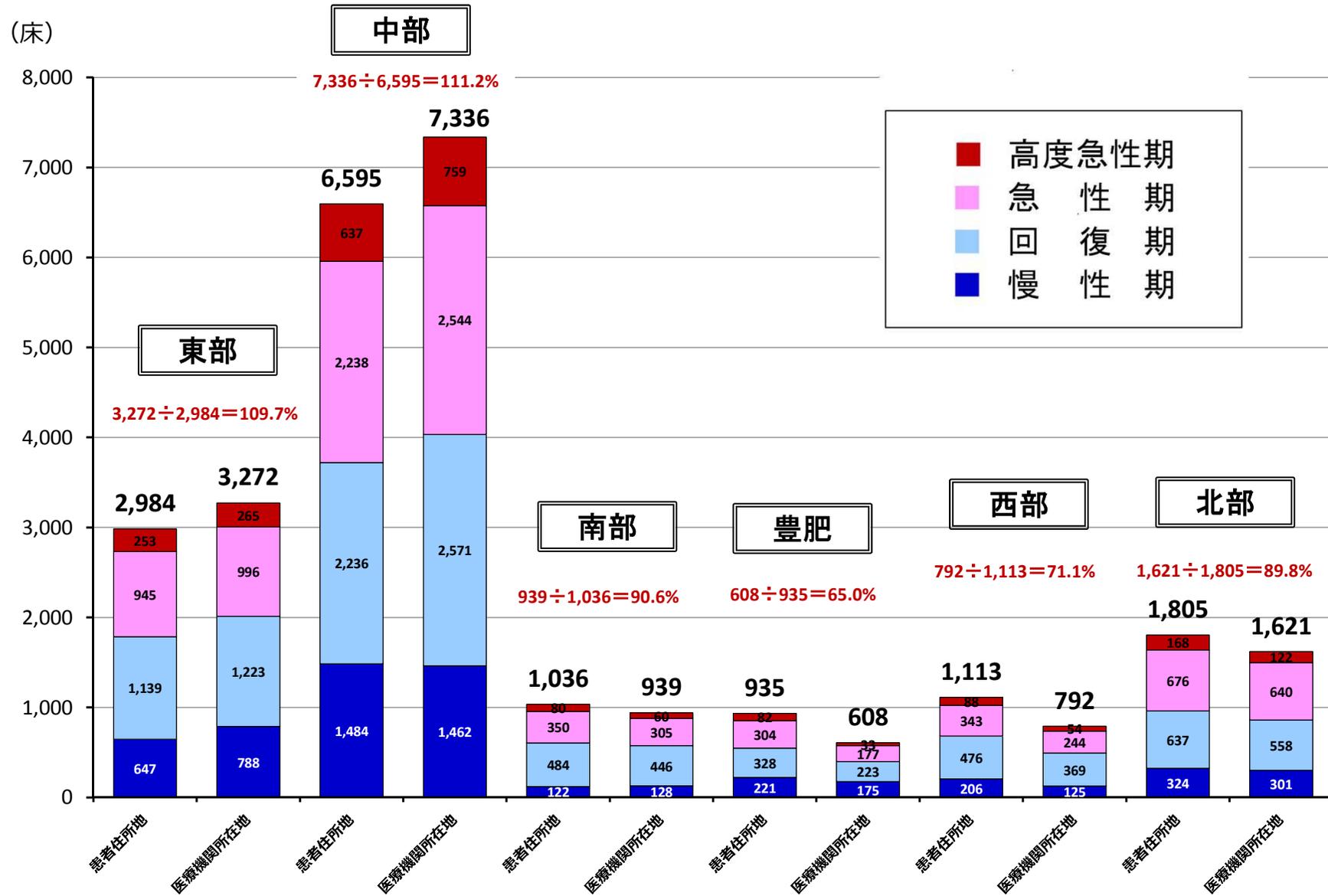
※ 病床機能報告(2014年7月)については、平成27年8月31日までの修正、追加報告等を含む。

なお、各医療機関が定性的な基準を参考に医療機能を選択したものであり、今回の推計における機能区分の考え方とは必ずしも一致しない。

※ 必要病床数(2025年)は、2013年の医療需要(実績)に将来の人口から推計された医療需要を病床稼働率で割り戻した数。

また、慢性期の病床数については「パターンB」による推計値。

2025年の医療機能別必要病床数推計(患者住所地ベースと医療機関所在地ベースの比較)



※ 必要病床数は、将来の人口から推計された医療需要を病床稼働率で割り戻した数。

※ 慢性期の病床数については、「パターンB」の推計値。

2025年の医療機能別必要病床数の推計結果（二次医療圏別・医療機関所在地ベース）

（単位：床）

	2013年の病床数			2025年の必要病床数 【医療機関所在地ベース】														
	一般・療養病床数(2013)			4医療機能 合計(2025) ②						一般・療養病床(2013)との差 (②-①)			うち 高 度 急性期	うち 急性期	うち 回復期	うち慢性期		
	合計 ①	うち 一般 病床	うち 療養 病床	パターン A	パターン B	パターン C	パターン A	パターン B	パターン C	パターン A	パターン B	パターン C						
東部医療圏	4,661.0	3,522.0	1,139.0	3,214.9	3,272.1	3,272.1	△ 1,446.1	△ 1,388.9	△ 1,388.9	264.8	995.6	1,223.5	730.9	788.1	788.1			
中部医療圏	8,142.0	7,333.0	809.0	7,333.1	7,335.9	7,335.9	△ 808.9	△ 806.1	△ 806.1	758.6	2,544.4	2,571.5	1,458.7	1,461.5	1,461.5			
南部医療圏	1,223.0	971.0	252.0	938.6	938.8	938.8	△ 284.4	△ 284.2	△ 284.2	59.5	304.7	446.4	128.0	128.1	128.1			
豊肥医療圏	914.0	751.0	163.0	607.7	608.4	608.4	△ 306.3	△ 305.6	△ 305.6	33.2	177.0	223.5	173.9	174.6	174.6			
西部医療圏	1,422.0	1,095.0	327.0	768.2	792.3	808.4	△ 653.8	△ 629.7	△ 613.6	54.1	244.4	369.0	100.6	124.7	140.8			
北部医療圏	2,493.0	1,895.0	598.0	1,558.0	1,620.9	1,676.3	△ 935.0	△ 872.1	△ 816.7	122.3	639.8	558.3	237.6	300.5	355.8			
大分県計	18,855.0	15,567.0	3,288.0	14,420.5	14,568.3	14,639.9	△ 4,434.4	△ 4,286.6	△ 4,215.1	1,292.6	4,906.0	5,392.2	2,829.7	2,977.6	3,048.9			

2025年の医療機能別必要病床数の推計結果（二次医療圏別・患者住所地ベース）

（単位：床）

	2013年の病床数			2025年の必要病床数 【患者住所地ベース】														
	一般・療養病床数(2013)			4医療機能 合計(2025) ②						一般・療養病床(2013)との差 (②-①)			うち 高 度 急性期	うち 急性期	うち 回復期	うち慢性期		
	合計 ①	うち 一般 病床	うち 療養 病床	パターン A	パターン B	パターン C	パターン A	パターン B	パターン C	パターン A	パターン B	パターン C						
東部医療圏	4,661.0	3,522.0	1,139.0	2,930.2	2,984.0	2,984.0	△ 1,730.8	△ 1,677.0	△ 1,677.0	252.9	945.0	1,138.8	593.6	647.3	647.3			
中部医療圏	8,142.0	7,333.0	809.0	6,595.2	6,595.2	6,595.2	△ 1,546.8	△ 1,546.8	△ 1,546.8	637.4	2,237.9	2,236.1	1,483.8	1,483.8	1,483.8			
南部医療圏	1,223.0	971.0	252.0	1,036.3	1,036.3	1,036.3	△ 186.7	△ 186.7	△ 186.7	80.4	349.6	484.0	122.3	122.3	122.3			
豊肥医療圏	914.0	751.0	163.0	933.6	934.5	934.5	19.6	20.5	20.5	82.1	303.4	328.0	220.1	221.0	221.0			
西部医療圏	1,422.0	1,095.0	327.0	1,082.1	1,113.0	1,134.5	△ 339.9	△ 309.0	△ 287.5	88.1	342.5	476.2	175.3	206.2	227.6			
北部医療圏	2,493.0	1,895.0	598.0	1,744.6	1,804.8	1,858.9	△ 748.4	△ 688.2	△ 634.1	168.4	675.5	636.9	263.9	324.1	378.2			
大分県計	18,855.0	15,567.0	3,288.0	14,322.1	14,467.9	14,543.4	△ 4,533.0	△ 4,387.2	△ 4,311.6	1,309.3	4,853.9	5,300.0	2,859.0	3,004.7	3,080.2			

今後の論点

○ 慢性期について、各構想区域ごとの医療需要及び必要病床数をどのように決定するか。

【案1】 療養病床の入院患者をできるだけ在宅医療等にシフトさせる。
(→パターンA)

【案2】 療養病床をできるだけ現状に近い形で維持する。
(→パターンBまたはパターンC)

【案3】 その他、中間案等

○ 上記の案を実現するためにどのような施策、取組が必要となるか。